

服Days

令和2年2月号

埼玉県立新座総合技術高等学校 服飾デザイン科



卒業作品展ファッションショーを終えて

今年も沢山の来場者をお迎えし、盛大にファッションショーを行うことが出来ました。今年のテーマは「Bijoux」。フランス語で「宝石」という意味があります。3年間小さな努力を積み重ね、沢山の服を作ってきた生徒達。全員が自信と誇りに満ちて、きらきらと輝いていました。この3年間を礎に、それぞれの世界へ羽ばたいてほしいです。



卒展が新聞に載りました！

2月2日（日）読売新聞に記事が載りました。

自分たちで製作した衣装を披露する女子生徒たち（1日、新座市で）

県立新座総合技術高校服飾デザイン科の生徒が卒業作品を発表する「ファッションショー」が1日、新座市野火止の市民会館大ホールで行われた。

新座

ドレスやスーツなど約80点を手作りしたほか、モデル、照明、ヘアメイクも全て生徒たち自身で手がけて、3年生29人全員がショーに関わっている。

今年のテーマはフランス語で宝石を意味する「Bijoux」。様々なスタイルの服装や演出を通して、生徒たちが高校生活で身につけた技術を保護者らに披露すると、会場は盛大な拍手に包まれた。

企画担当の柳沢涼風さん（18）は「学んだことは全て出せた。この3年間はこれからの人生の中で宝石のように輝くと思う」と話した。

この他、同日朝日新聞にも記事が載り、J:COM TV（ケーブルテレビ）のデイリーニュースでは2回に渡り、ファッションショーを作るところから当日の様子まで放送されました。

1年生特別講義 「職業労働の意義と職業選択 ～専門職の仕事とは～」

2月4日（火）株式会社辻洋装店の専務取締役 辻吉樹様を講師にお迎えし、1年生に向けて特別講義が行われました。アパレル業界の分類や現状について、自分たちが普段着ている服がど



こから来ているのか、日本のものづくりはどうなっていくのか、具体的な数字を踏まえながら話していただきました。また社会に出ること、特に専門職に就くためにはたくさん勉強して、ものづくりを通して人生を楽しくおもしろく過ごすことが大切だとお話していただきました。

ものづくりについて改めて考えたり、楽しんだりすることの大切さに気付く機会となりました。

（生徒の感想より）

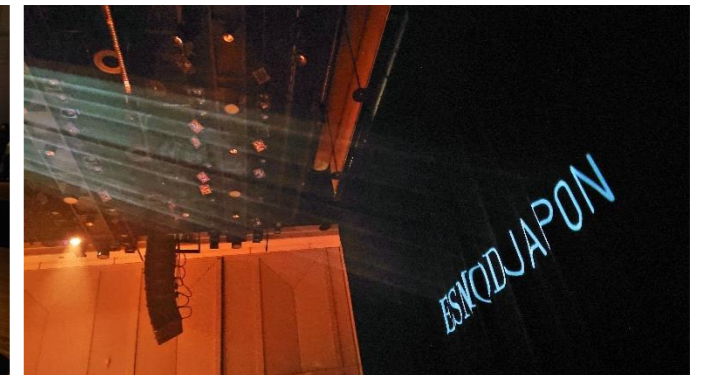
創・工・商の説明を聞き、将来の仕事を選ぶためによく考えなければならないことが分かりました。一生懸命学び、楽しく服作りをしていきたいと思います。（K）

私たちが服作りを学ぶ上で大切なことを知ることができました。どんな仕事もあきらめずに10年続けること、本当にやりたいことを見つけることが大切だということが心に響きました。（F）



2年生 校外学習 「ESMOD 卒業コレクション2020」を見学！

2月6日（木）2年生全員で、恵比寿ガーデンプレイスガーデンホールで行われた、エスモードジャパンの卒業コレクションを見学させていただきました。会場に入ってすぐ照明やスタッフの動き、洗練された空気感などすべてが良い緊張感の中で進められ、素晴らしいファッションショーを体感することが出来ました。昨年卒業した先輩がランウェイに出てくるという偶然にも恵まれ、これから3年生になる生徒達にとって、わくわくするような本当によい経験になったと思います。



今回のファッションショーで、服の造形はもちろん、ショー自体のシーンや照明など多くの事を学ぶことが出来ました。今回の事を無駄にせず最大限に自分達のショーで生かせたらと思います。（W）

ファッションショーを見て一番に思うのは、やっぱり服が好きということです。自分達も、見ているお客様に感動はもちろんのこと、自分たちのショーを通して服が好きという気持ちを持ってもらえたらと思います。（H）